

議会評価意見書（令和 6 年度事業）

事業名	地域医療連携事業	
議会評価	事業内容：要改善	予算規模：拡充
【評価理由】 医師・看護師の確保の実績が横ばいであり、現状の取組には限界がある。特に、個人病院を支える看護師の不足は地域医療の崩壊に直結する問題であり、アプローチの限界があると判断する。 学生との対話から、「浜田市で働く魅力が伝わっていない」「頑張りが評価される仕組みが見えない」といった声が上がっている。市全体で医療従事者にとって魅力的な環境整備と、その積極的な発信の強化が必要である。 小中学校の段階から地域医療の重要性を伝え、将来の担い手を育てる「キャリア教育」の視点を事業に盛り込むべきであると考え、早期からのキャリア教育が必要である。 現状の「連携事業」という名称では実態と合わない部分があり、「人材確保・育成事業」など、より目的を明確にした事業名に変更してはどうかと考える。 【執行部への提案内容】 地域医療の安定化・人材育成・啓発活動は長期的課題であり、長期的な視点での事業推進に必要な予算確保を強く求める。 例えば、地域医療教育の全校展開、オンライン授業の導入、修学資金貸付制度、復職支援プログラム、宿舎整備支援など看護師確保に係る支援、生活支援金、実習費・交通費の支援、メンター制度など医学生支援の強化、地域・広域連携の取組の強化、「浜田の地域医療を守る会」を通じた住民との距離を縮める意見交換会や地域住民への啓発活動の拡充が必要であると考えます。 ・ 早期キャリア教育の実施：地域医療に興味関心を持つプログラム ・ 看護師確保策の強化：市独自の具体的な支援策構築 ・ 戦略的 PR 展開：若手医療従事者の動画制作と発信		